

LUI「公募研究 B」成果報告書

1. 申請者名・所属先

稲田奈津子・史料編纂所

2. 国際研究集会の名称及び概要

東アジア諸王室における礼的〈逸脱〉の諸相

3. 開催場所

Zoom ミーティング（オンライン）

4. 開催日時

2021年7月26日(月) 13:00～17:30

5. 国際研究集会開催の趣旨・目的

JSPS 科研費（18H00700）「東アジア諸王室における「后位」儀礼比較史の協業的研究」（代表：伴瀬明美）では、東アジア諸王室に共通する「后位」（皇后・王后等）という身位に関する儀礼の総合的基礎研究を通じて、中国礼制受容の具体的様相を解明することを大テーマとする研究活動を行っている。東アジア諸王室における后位の在り方の独自性と共通性およびその歴史的背景の解明に取り組み、諸王室の「后位」儀礼に表れる中国礼制受容の具体的様相を、①朝鮮・日本等における独自の発展や〈逸脱〉に注目して考察し、②中国礼制自体の歴史的変化についても解明することを目指している。

本国際研究集会は、本共同研究において最も独自性を有する視点である、「中国礼制からの〈逸脱〉の解明」に焦点を当てたもので、北方系民族による非漢民族国家で后位に関して中国礼制からの大きな〈逸脱〉が認められる北魏、中国歴代王朝の強い影響を受けつつ中国礼制の受容にあたっては強い独自性や〈逸脱〉がみとめられた高麗をフィールドに、それぞれの后位関連儀礼・制度にみられる礼的〈逸脱〉を比較対照することを通じて、東北アジア諸王室における礼的〈逸脱〉の諸相制と歴史的背景に関する研究の深化をはかることを目的とする。報告者の鄭雅如氏は北魏の皇后・后位について最新の研究を公表している気鋭の研究者であり、李貞蘭氏は高麗王室の後妃に関する研究の牽引者である。両氏とも本共同研究の過程で個別に研究交流を重ねてきたが、共同研究の中核的テーマのもとで一同に会して研究集会を行うことで、議論の深化と研究の進展が期待できる。

6. 国外招聘研究者を含む主な講演者・参加者(氏名・所属等)

報告者：

鄭 雅如 (台湾 中央研究院 歴史語言研究所 副研究員)

李 貞蘭 (韓国 忠南大学校 国史学科 助教授)

コメント：

豊島 悠果 (神田外語大学 外国語学部)

稲田 奈津子 (東京大学 史料編纂所)

通訳：

郭 珮君 (台湾 中央研究院 中国文哲研究所)

植田 喜兵成智 (学習院大学 東洋文化研究所)

司会：

伴瀬 明美 (大阪大学大学院 文学研究科)

7. 参加人数

82名